

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
笛吹市	笛吹市	平成 26 年度～令和元年度	平成 26 年度～令和元年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t %
	生活系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人 %
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t %
再生利用量	直接資源化量	t	t	t %
	総資源化量	t	t	t %
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t %

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成24年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和2年度) B	実績 /目標
総人口	71,783 人	69,117 人	68,435 人	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	42,311 人	47,417 人	42,170 人 -2.8%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	59.0%	68.6%	61.6% 27.1%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	人	人	人 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	% %
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	人	人	人 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	% %
未処理人口	汚水衛生未処理人口	人	人	人 %

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

(生活排水処理)

公共下水道については、平成 25 年度までは急速に整備を進めていたが（約 5～10k m/年）、その後、財政的な理由により整備工事の進捗が遅くなったことが（約 1k m/年）目標を達成できなかった主な要因である。なお、供用開始区域においても、本管への接続には宅内切替工事に相応の個人負担が必要なことが、接続が進まない要因の一つであると考えられる。また、令和元年度に下水道全体計画見直しに伴い全体計画面積を 157.15ha 縮小、令和 2 年度に人口減少を加味した下水道事業計画の見直しを行ったが、目標 47,417 人に対し、実績 42,170 人という結果だった。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和 6 年度まで

令和 2 年度に下水道事業計画を見直したことより、見直し後の目標設定に基づき公共下水道本管工事の整備を推進していく。下水道供用開始区域では、戸別訪問を行い下水道接続への理解・周知を行い、接続の推進を図る。併せてホームページや広報等にて、事業の周知を図ることで、積極的に公共下水道への接続を呼びかけていく。

(都道府県知事の所見)

目標を達成できなかった公共下水道整備について、今後も財政的な理由により進捗の遅れが懸念される場合は、合併浄化槽との経済比較を実施の上、更なる計画の見直しを検討するなど、令和 7 年度末の 10 年概成に向けた効率的な汚水処理未普及解消に努めていただきたい。